

待脱気筒塩ビシート用丸型

取扱説明書

商品内容

塩ビシート用丸型



- 付属品 (1個につき) プラグレスアンカー4本
- 荷姿 待脱気筒塩ビシート用丸型 1ケース2個入り

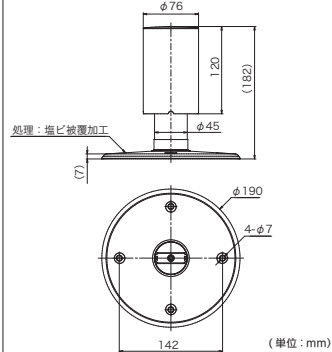
塩ビシート用丸型コア付



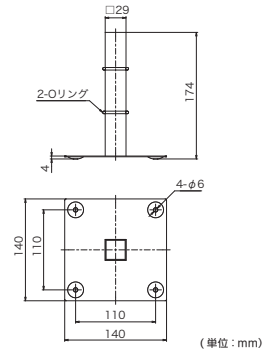
- 付属品 (1組につき) プラグレスアンカー8本
- 荷姿 待脱気筒塩ビシート用丸型コア付 1ケース2組入り

寸法図

塩ビシート用丸型



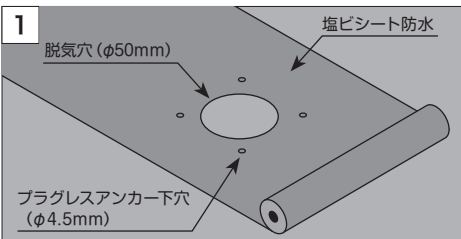
コア



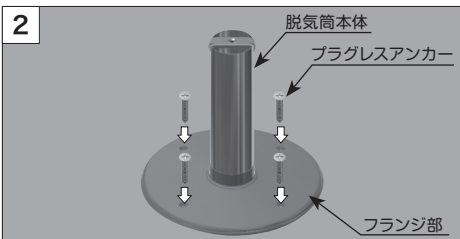
注意 ・ケガを防ぐため脱気筒を取り扱う際には必ず手袋等を着用して下さい。
 ・破損の原因になりますので脱気筒に乗ったり衝撃を与えないで下さい。

塩ビシート防水施工例

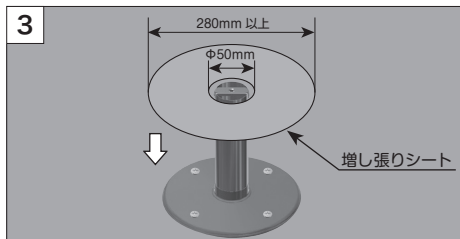
※下記の施工手順は一例になりますので実際の施工方法は各防水メーカー様の仕様に準じてください。



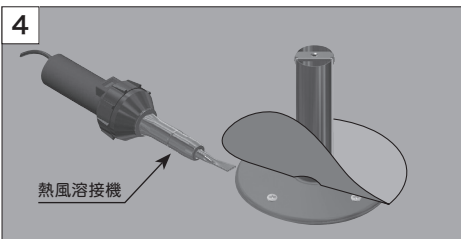
塩ビシート防水を施工する。
 脱気筒の設置箇所に合わせて脱気穴を開け、塩ビシート防水層の上から下地に脱気筒固定用プラグレスアンカー下穴(φ4.5mm)をドリルで開ける。



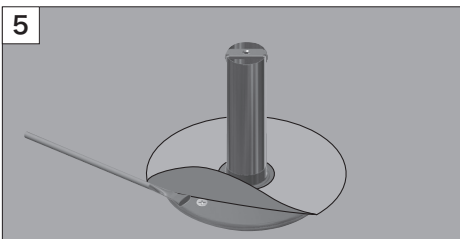
下穴に合わせて脱気筒本体を置き、プラグレスアンカーを用いて固定する。



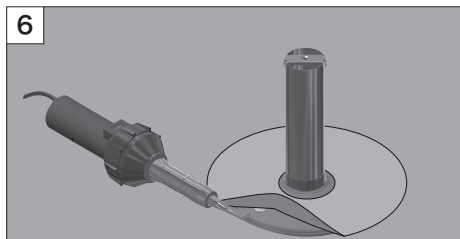
増し張りシートを適当な大きさに切り、脱気筒本体の上にかぶせる。(増し張りシートと防水層が40mm以上かぶる大きさにする。)



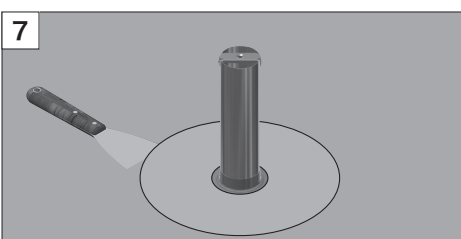
増し張りシートをめくりながら、熱風溶接機を用いて増し張りシート末端部の内周付近と脱気筒本体フランジ部を熱融着させる。



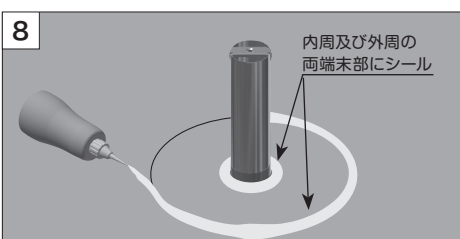
増し張りシートをめくりながら、脱気筒フランジ部と増し張りシートの間に溶着剤を塗布して填圧し、溶着させる。



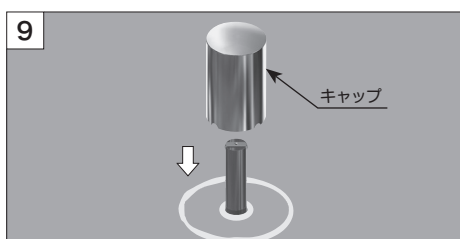
増し張りシートをめくりながら、熱風溶接機を用いて脱気筒本体フランジ部の段差部から増し張りシート末端部の外周にかけて熱融着させる。



カワスキ等を滑らせて末端部の浮き・剥がれが無いか確認し、あった場合は熱風溶接機を用いて再度熱融着させる。

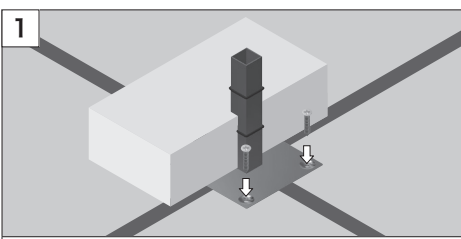


上記2箇所にはひも状、又は液状シール材でシールする。

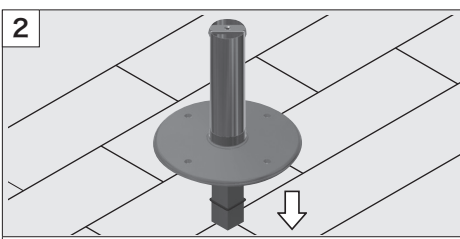


キャップを締めて施工完了。

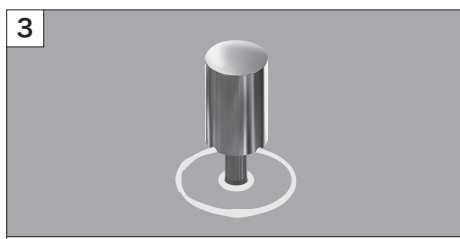
外断熱工法施工例 — コア施工例 —



目地交差部にプラグレスアンカーを用いてコアを固定し、断熱工事を施す。



コアの上から脱気筒本体をかぶせ、防水工事を施す。
 ※脱気筒はビス止めしません。



キャップを締めて施工完了。



株式会社 山装

■本社 〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-18-17

TEL 045-781-7821 FAX 045-781-7824